



(内部川の古絵)
内部川の流れは時に暴れ川と呼ばれ、氾濫をし被害がでました。

防災訓練特集

広報 自主防うつべ

第3号 発行日 平成20年9月20日 発行 内部地区自主防災協議会

次回訓練

日時 2008年12月7日(日)
場所 内部小学校
内部東小学校
内部中学校
内部地区市民センター

1、訓練の目的とねらい

本年度の防災訓練は6月15日(日)に行なわれ、3,096人の方が参加していただき防災意識の高さが現れた防災訓練でした。
・各自治会ごとに地域特性にあった訓練を実施していただきました。

- ・一次避難所での人員安全確認および誘導における問題点の発掘
- ・各地区・自治会内の被害状況把握・報告と情報伝達訓練
- ・有事の組織体制と機能確認
- ・災害対策本部員の連絡網による伝達訓練
- ・災害対策本部の情報収集訓練

2、訓練の場所

- ・災害対策本部を内部地区市民センターに立ち上げ、情報伝達、情報収集訓練を実施
- ・各自治会現地で地域特性にあった訓練を実施していただきました。

3、訓練の想定

- ・6月15日(日)午前8時00分 熊野灘を震源地とするマグニチュード8.4の巨大地震発生、四日市市では震度6弱を観測。家屋倒壊や家具転倒による怪我人が出ている模様。停電や水道断水も多く、携帯電話は不通状態、道路損壊箇所多数あり。
(災害対策本部への報告は車での走行は不能、徒歩か自転車での実施となる)



(貝家町)



(災害対策本部)



(波木町第二)

4、訓練の結果

地震発生による住民避難訓練

- ・各自治会指定の一次避難所へ避難(各自治会地域特性の訓練実施)
- ・各地区自治会内の人員掌握および被害状況の把握と報告(本部で確認)

災害対策本部情報伝達・収集訓練

- ・災害対策本部連絡網による伝達訓練(早い方14分遅い方で25分に災害対策本部内部地区市民センターに集合されました)
- ・災害対策本部員集合訓練および災害対策本部立ち上げ
- ・各地区自治会からの被害状況報告訓練(統一書式活用)



(波木町)



(北小松町)



(波木町第二)

5、次回訓練に活かすこと

- ・指定避難所での人員安全確認および誘導における問題点の発掘
- ・非常電源・無線機・電話複数回線・文具類・支援台帳の常時使用確認
- ・対策本部室の開錠・防災倉庫の開錠および持ち出し許可を明確にする



各自治会で実施した内容

自治会名	訓練計画作成配布	説明訓練 配布し書	初期消火	消火栓 放水	避難所迄 避難経路	避難訓練 本部報告	要援者 関係	その他訓練	消防団他 指導員
栗女町北部		○		○	○	○		防災意識啓発	消防団員
栗女町西部		○		○	○	○		電話連絡網	
栗女町中部		○		○	○	○		電話連絡網	消防団員
栗女町南部		○		○	○	○		電話連絡網	消防団員
南小松町		○		○	○	○		電話連絡網	消防団員
北小松町		○		○	○	○		電話連絡網	消防団員
貝家町		○		○	○	○		非常用ポンプ操作・土留作り 防災倉庫(発電機操作ほか)	消防団員
波木町		○		○	○	○		AED、三脚付、高層階昇	警員・団員
波木町第二		○		○	○	○		伝達訓練・防災意識啓発	消防団員
波木町第三		○		○	○	○		伝達訓練・防災意識啓発	消防団員
波木町第四		○		○	○	○		電話連絡網・防災本部立ち上げ	
小島町		○		○	○	○		電話連絡網	
中瀬町		○		○	○	○		電話連絡網	
森が丘町		○		○	○	○		トランシーバーを使用した訓練	
森が丘		○		○	○	○			
高塚町		○		○	○	○		防災意識啓発・トランシーバー利用、非常用連絡網 予備電源、防災倉庫(発電機操作ほか)	消防団員
波木が丘		○		○	○	○		電話連絡網・防災本部立ち上げ	消防団員
栗女町		○		○	○	○		電話連絡網	消防団員
栗女が丘		○		○	○	○		電話連絡網	消防団員
計	5	7	3	7	3	20	3	(12)	8

